

# 分離症の病期分類

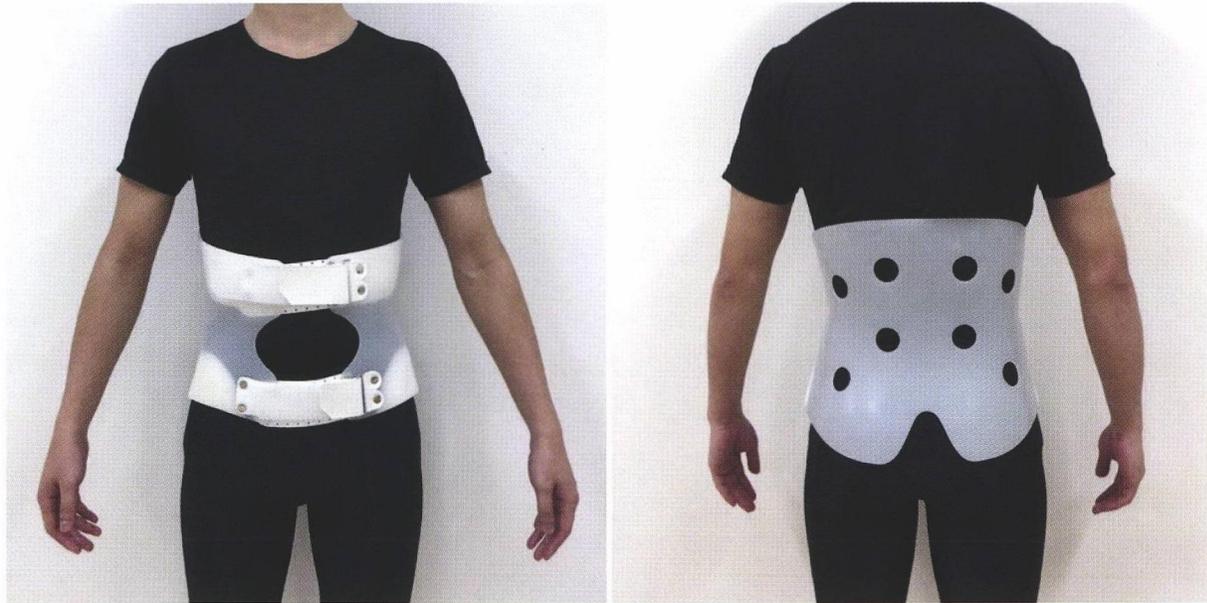
病期	初期	進行期	末期
腰椎 CT像 (水平断)	 <p>一部に骨折線がみられる</p>	 <p>分離部がやや開大しているが 硬化は認めない</p>	 <p>完全に分離し硬化を認める</p>

超初期 (MRI)



# 分離症に対する標準的な治療

部活、運動、体育に加え、重い荷物を持つこと、自転車も禁止し、以下の治療を行う。



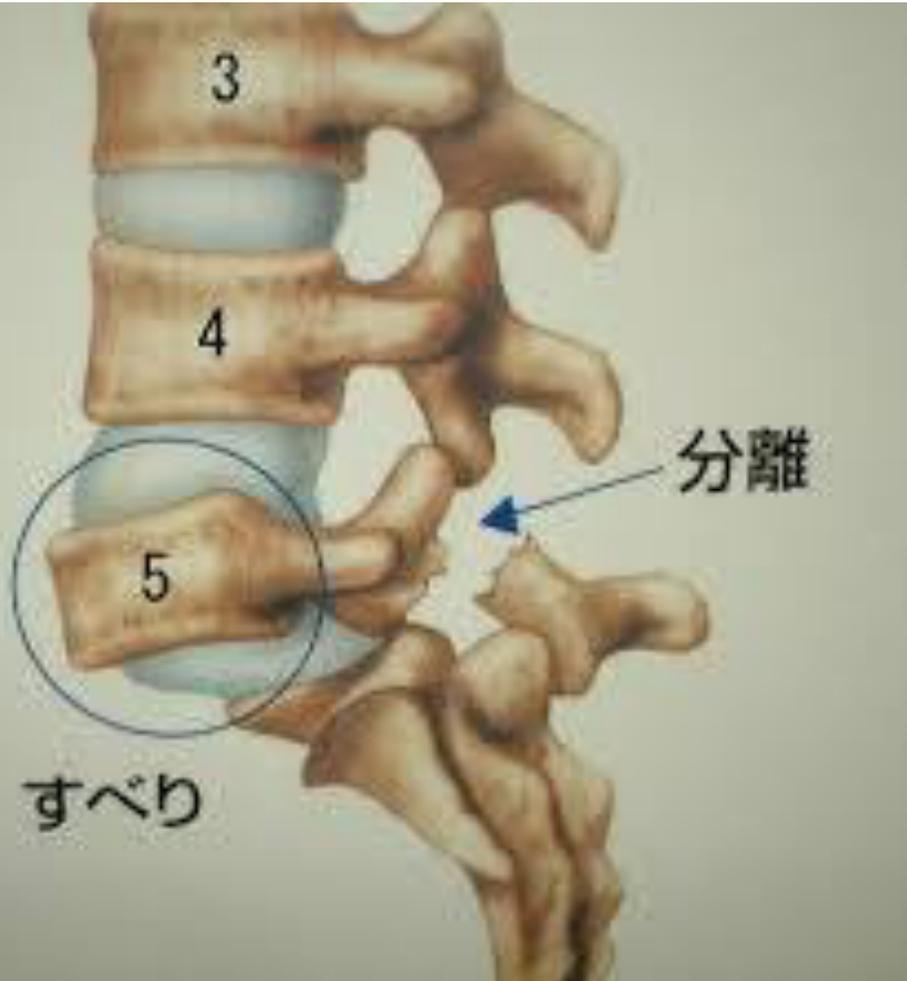
1. 硬性装具（左）の装着 [ 初期 3ヶ月  
進行期 5~6ヶ月

2. 胸郭、下肢の柔軟性向上

3. 体幹安定性の強化

骨癒合率は 初期 90%以上  
進行期 60%（骨髄浮腫あり）  
30%（骨髄浮腫なし）  
末期 0%

# 分離症がすべり症に進行する確率



末期分離症に  
なった年齢

すべり症に  
進行する確率

小学生

80%

中学生

10%

高校生

0%